



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月25日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 2218 URL http://WWW.nichiryo-pan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011(851)8188  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,365	6.4	145	540.5	140	850.3	133	—
23年3月期第1四半期	4,102	—	22	—	14	—	10	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	6	35	—	—
23年3月期第1四半期	0	51	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,320	—	2,767	—	22.5	—
23年3月期	12,232	—	2,643	—	21.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,767百万円 23年3月期 2,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0 00	0 00
24年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,800	3.9	170	63.5	150	76.0	120	123.0	5	72
通期	18,000	3.0	280	16.0	250	21.5	200	7.0	9	54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期 1 Q	21,039,480株	23年3月期	21,039,480株
------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期 1 Q	70,934株	23年3月期	70,776株
------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期 1 Q	20,968,632株	23年3月期 1 Q	20,970,991株
------------	-------------	------------	-------------

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期財務諸表	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) セグメント情報	P. 6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害と混乱の影響から、生産活動が大きく停滞し、景気は大変厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましても大震災によって多数の工場や店舗が操業停止となり、インフラの寸断や、物流網の停滞、原材料調達難などの厳しい状況となりましたが、早期復旧および原材料の確保に努め、被災地向けの緊急食糧支援に取り組みました。

当社では、東日本大震災によって一時的に原材料の調達難が生じましたが、生産品目を絞り込んで増産体制を敷き、北東北地区をはじめとする被災地向けの製品供給に積極的に取り組みました。

このような情勢下におきまして、製品面では、「絹艶」ならびに「みんなの食パンANN(アン)」の拡販に加え、4月には北海道産米粉を50%配合した、新製品「米と麦」を発売し、食パンの売上伸長に努めました。北海道産の米粉を使用した製品は、菓子パンへも対象を拡大し、大変ご好評をいただいております。また、「蒸しドーナツ」シリーズの発売や、「チーズ蒸しパン」のリニューアルを実施し、和菓子の売上回復にも取り組みました。一方、原材料の価格は前期末より引き続き上昇傾向にあり、経費面でも物流コストや人件費が増加いたしました。北東北地区への製品供給や、北海道物産展等、本州方面の売上が大きく伸長したことに加え、生産、ならびに販売の管理体制を強化して効率化に努め、大幅な収益改善をはかることができました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高4,365百万円(前年同期比106.4%)、営業利益145百万円(同640.5%)、経常利益140百万円(同950.3%)、四半期純利益133百万円(同1,234.6%)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

四半期貸借対照表の内容について前事業年度末と比較いたしますと、資産の部におきましては、主に季節的要因により売掛金が167百万円減少、商品及び製品が95百万円増加しております。負債の部におきましては、特に重要な差異のあるものはありません。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、東日本大震災によって被災した各企業、工場の稼働再開や、復興に向けた動きの活発化に伴い、景気を持ち直し感が徐々に広がることが予想されます。しかしながら、東京電力福島第1原子力発電所の事故に端を発した電力需給問題や、観光産業への打撃、余震による消費マインドの低迷など、復興の足枷となる不安材料を抱えており、予断を許さない状況にあります。

当業界におきましても、電力使用制限に起因する工場の稼働制約による影響が懸念されております。また、4月の輸入小麦の政府売り渡し価格の引き上げに伴い、6月には当社製品の主原料である小麦粉価格が大幅に改定され、砂糖、餡、卵、油脂、燃料等の価格も上昇傾向が続いていることから、経営環境は引き続き厳しい状況となることが予想されます。

このような情勢のなかで、当社では、現在の品質を維持しつつ企業内努力のみで原材料価格等の上昇分を吸収することが大変困難な状況にあるものと判断し、7月1日より一部の製品の価格改定と入数規格の変更を実施いたしました。

当社は、今後とも「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、お客様のニーズを的確に捉えた新製品開発に積極的に取り組むとともに、原材料の安定調達に努め、安全・安心で高い品質と価値ある製品をより多くのお客様へお届けできるよう、本州方面の販路拡大や、道内における市場拡大をはかってまいります。また、生産、ならびに販売の管理体制を強化して一層の経営効率化と技術革新を推し進め、収益改善をめざしてまいります。

なお、平成24年3月期第2四半期累計期間および通期に関する業績予想は、平成23年5月13日に公表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,432,427	1,659,179
受取手形及び売掛金	2,006,163	1,838,852
商品及び製品	41,804	137,448
仕掛品	24,142	29,132
原材料及び貯蔵品	147,168	137,761
繰延税金資産	137,534	137,534
その他	85,502	74,140
貸倒引当金	△2,892	△2,072
流動資産合計	3,871,850	4,011,977
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,422,407	1,418,019
機械及び装置(純額)	1,416,731	1,384,029
土地	4,672,216	4,672,216
その他(純額)	187,442	181,496
有形固定資産合計	7,698,797	7,655,762
無形固定資産		
その他	90,485	91,909
無形固定資産合計	90,485	91,909
投資その他の資産		
投資有価証券	335,707	321,138
投資不動産(純額)	108,967	108,967
繰延税金資産	61,578	68,275
その他	74,642	71,335
貸倒引当金	△9,603	△8,906
投資その他の資産合計	571,292	560,810
固定資産合計	8,360,576	8,308,483
資産合計	12,232,426	12,320,460

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,186,867	2,201,570
短期借入金	1,550,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	662,200	645,950
未払法人税等	23,698	8,340
賞与引当金	167,322	83,720
その他	819,796	880,925
流動負債合計	5,409,885	5,520,506
固定負債		
長期借入金	1,138,700	987,600
再評価に係る繰延税金負債	1,583,259	1,583,259
退職給付引当金	1,419,710	1,418,890
役員退職慰労引当金	36,687	38,067
その他	1,145	4,145
固定負債合計	4,179,502	4,031,962
負債合計	9,589,387	9,552,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△756,478	△623,235
自己株式	△8,188	△8,202
株主資本合計	287,306	420,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,263	39,987
土地再評価差額金	2,307,468	2,307,468
評価・換算差額等合計	2,355,732	2,347,456
純資産合計	2,643,038	2,767,992
負債純資産合計	12,232,426	12,320,460

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,102,994	4,365,087
売上原価	3,117,313	3,233,333
売上総利益	985,680	1,131,753
販売費及び一般管理費		
販売費	779,129	797,954
一般管理費	183,757	187,802
販売費及び一般管理費合計	962,886	985,756
営業利益	22,793	145,996
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	4,592	4,315
その他	3,530	3,793
営業外収益合計	8,131	8,112
営業外費用		
支払利息	16,172	13,954
その他	3	0
営業外費用合計	16,175	13,954
経常利益	14,748	140,154
特別利益		
固定資産売却益	203	—
貸倒引当金戻入額	1,106	—
特別利益合計	1,310	—
特別損失		
固定資産除却損	348	3,286
投資有価証券売却損	1,273	—
特別損失合計	1,621	3,286
税引前四半期純利益	14,436	136,867
法人税、住民税及び事業税	3,644	3,624
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,644	3,624
四半期純利益	10,792	133,243

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。